

# 平成 26 年度 第 2 回鶴岡市予防接種対策委員会

日時：平成 27 年 2 月 26 日（木）

午後 6 時 30 分～午後 8 時

場所：にこ・ふる 3 階研修室

## 〈出席〉

委員 佐藤洋子、鈴木千晴、岡田恒人、佐久間正幸、鈴木準、小野俊孝、伊藤末志

幹事 御橋慶治

事務局 今野和恵、原田真弓、齋藤恵美、石井美喜、長瀬かおり、佐藤直美、丸山涼子、  
長谷川恵、佐藤明日香、富樫梓

## 〈欠席〉

委員 松田徹

オブザーバー 加賀山誠、生田浩樹（関係案件がないため案内なし）

事務局 志田仁美

## 1. 開 会（進行：原田課長）

委員 8 名のうち 7 名が出席、会議が成立していることを報告。松田会長が欠席。オブザーバーの二人については、関係案件がないため今回は案内していない。

## 2. 挨拶（鈴木副会長）

松田会長が欠席のため、副会長の鈴木が議長を務めることとなる。

## 3. 報 告（議長：鈴木副会長）（資料 1 P～2 P）

（1）平成 26 年度健康被害報告状況について（事務局長瀬）

（2）平成 26 年度予防接種事業実施状況について

①水痘（事務局長瀬）

②高齢者肺炎球菌（事務局齋藤）

③償還払い制度（事務局長瀬）

〈質疑応答〉なし。

## 4. 協 議（P3～P9）

（1）平成 27 年度予防接種法による予防接種実施計画(案)について

①A 類疾病（乳幼児等）（事務局長瀬）

②B 類疾病（高齢者）（事務局齋藤）

（2）平成 27 年度予防接種法定外による予防接種実施計画(案)について

①成人の風しん予防接種費用助成事業（事務局長瀬）

〈質疑応答〉

○インフルについて

鈴木議長：酒田市では既に接種券無しで行っていると伺っているが、議論はないか。

岡田委員：実施期間の日にちは何日からと決めるのか？

事務局齋藤：今年は 10 月 15 日が木曜日です。15 日が良いのか、その年の曜日によりその前後もありうると思うが、接種期間を 10 月中旬の何日から 1 月末までと決め

て実施することになると考えています。

岡田委員：高齢者の方には接種券のことを割引券と表現することで、伝わりやすく分かりやすかったが、酒田市では接種券が無いことでのデメリットはなかったのか？

事務局齋藤：県内で接種券を個別発行しているのは、三川と鶴岡くらいで酒田市はハガキでお知らせしているが、接種時の提出は求めているようです。

岡田委員：鶴岡市では案内ハガキを出す予定は？

事務局齋藤：今の時点では考えていない。別の形で、各地域での保健便りやコミセン便りに掲載あるいはチラシ折込をするなど、保健師の協力のもと9月・10月に接種券が無くても接種できることを周知したいと考えています。

岡田委員：山形市も案内ハガキは出していないのか？

事務局齋藤：広報とホームページだけです。

岡田委員：その方法で接種率は下がらなかったのか？

事務局齋藤：鶴岡市の66.9%という接種率は県内の市としてかなり高い方です。

岡田委員：接種券が来ないと接種することが分からず、ワクチンを打つきっかけを失い、接種率が下がることが懸念される。

事務局齋藤：鶴岡市では今年度まで13年間接種券を送付しているので、時期が来ればはがきが届くとの認識が強く、発送していない時期から紛失したとの連絡が来たり、前年度の接種券を持って来たりといろいろな問合せがあります。

岡田委員：接種券が送付されるメリットとしては、接種券が来たから接種しに行こうと思うけど来ないと分からないのではないかな。今回は広報等かなり気を使わなければいけない気がする。

佐久間委員：接種券が来ないことで、来年度は問合せがかなりあると思われる。

事務局齋藤：はがきを送っていても多くの問合せが多くあります。はがきが無くても接種できることを丁寧に伝えることで、2~3年のうちには浸透していくと思われる。ロコミ・サロン、老人クラブ等で早い段階で市民の目に触れるようにしていきたい。

岡田委員：H27年度は接種券を出さないことを、医療機関へも連絡を徹底して欲しい。各医院でも早めに対策を考えられるので。

佐久間委員：医療機関へ接種時期前に、鶴岡市で作成したポスター等を配布し貼ってもらうのも一つの方法である。

事務局齋藤：実施前に医療機関説明会を行いポスター掲示もお願いしたいと考えています。

鈴木議長：高齢者の方はいつもと違うパターン、新しいことには、非常に臨機応変に対応出来ないのではよろしくお願いします。

原田課長：薬局の方にも貼っていただけるものを用意したい。

鈴木議長：そうですね。目に触れるところには、全部にあった方がいいですね。

佐久間委員：接種券が無いと市民であるかどうかの資格確認が出来ないのでは？保険証を持っていれば市民だと確認できるが、予防接種だと保険証を持って来なかったりして、市民でない方への接種もありうるが。

事務局齋藤：他の市町村と同じく、予診票の住所で確認し、特に65歳以上であるかどうか

が大事だと思うので嚴重に生年月日で確認していくやり方で行きたい。

#### ○風しんについて

佐久間委員：今年は風しんだけのワクチンは十分にあるのか。元々はワクチンの数が少なかったから始まったはずだが、抗体価検査にもお金がかかることなので、ワクチンが潤沢にあるのなら抗体価検査は要らないのでは？

事務局長瀨：県の補助が、抗体価検査をしたことが条件になっている。抗体価検査をした方でワクチン接種をする場合に市町村へ補助が下りることとなっている。県と鶴岡市で負担している事業である。

佐久間委員：検査・ワクチンがセットという県の事業になっているのであれば、ここで議論しても仕方がないことなので、県の方へ提案していただくしかないですね。

伊藤委員：風しん単独での接種はどのくらいあるのか。

事務局長瀨：今年度の麻しん風しん（MR）は89件、風しん単独では55件です。H25年度は、MR379件、風しん単独46件です。

佐久間委員：麻しん風しんと単独では値段が違うのか？

原田課長：1.5倍違います。

佐久間委員：それなら単独で接種した方が鶴岡市としては助かりますね。

原田課長：そうですね。

岡田委員：県に話しても国に右ならえだから難しいですね。

鈴木議長：分からないところは県の回答を待って、委員の方々に返していただけたらと思います。

#### 5. その他

##### (1) 国の動き（事務局石井）

- ①B型肝炎
- ②日本脳炎
- ③子宮頸がん

##### 〈質疑応答〉

事務局石井：H26年4月1日～12月31日に子宮頸がんワクチン（1回目）を接種した方は4名です。（鶴岡市の実績）

岡田委員：その人達は続けて接種しているのか？

事務局石井：12月に始めた方もいる。8月に接種した方は2回目も接種している。

岡田委員：鶴岡で接種した方で副反応が出た人はいるのか？

事務局石井：市への報告はありません。

岡田委員：これまでに接種された方は何人か？

今野部長：正式に接種勧奨していた時は8割強の接種率でした。

岡田委員：今まで鶴岡での副反応はないのですか？

原田課長：庄内地区でみると、0（ゼロ）ではないとの情報もあります。

#### 6. 閉 会（原田課長）

今野部長：ご協力ありがとうございます。本日が今年度最後の会議となり、委員の皆さま方の

2年の任期最後の会議となります。さまざまな制度が変わったり、接種方法は全て個別になったりとこれまでいろいろな変更をしてきたわけですが、健康被害の報告も無く順調に予防接種事業が進んでいることは、委員の皆さま方のご指導ご協力の賜と存じております。本日協議したH27実施計画等については、3月の定例市議会に提案し審議していただくこととなっております。H27年度も引き続き予防接種事業が順調に、子ども達または大人の感染症予防に役立てるよう進むことをお願いしていきたいと思っております。本日はご協議ありがとうございました。

〈閉会后〉

佐久間委員：H27年度の高齢者インフル予防接種の接種率はいつ頃分かりますか？

事務局齋藤：1月末で完了していますので、今年度の実績は参考資料として添付しております。

正式には、27年度の第一回の委員会で他の予防接種の平成26年度実績と合わせご報告する予定です。

佐久間委員：来年のこの時期に接種率が分からないと、接種券無しになった影響を判断出来ない。再来年度に向けての話し合いが出来るよう接種率を出して欲しい。

事務局齋藤：了解しました。

原田課長：8月の会議の時に具体的な提案をしますので、また委員の皆さまから意見を頂戴したいと思っております。